

(1)英語

- i) 別表 I に示された科目のうち合計 20 単位以上履修し、その GPA が 3.60 以上であること。そのうち A 群科目の中から 6 単位以上履修していること。(別表 I に示された科目で、派遣留学により単位認定を受けた科目は、10 単位を上限として必要単位数に含めることができる。その場合、単位認定科目以外の科目のみで算出した GPA が 3.60 以上であることを条件とする。)
- ii) 「イングリッシュ・プラクティクム 1」、「イングリッシュ・プラクティクム 2」、「プレ・イングリッシュ・プラクティクム」、「アカデミック・イングリッシュ A」「アカデミック・イングリッシュ B」、「プロフェッショナル・イングリッシュ A」、「プロフェッショナル・イングリッシュ B」、「英語文化事情・上級」、「現代英語表現法」の上級科目のうち必ず 2 科目を履修していること。
 ※2009 年度以降生は、ii) に記載した 9 科目のうち必ず 2 科目を履修していること。
 2008 年度以前生は、ii) に記載した 9 科目のうち必ず 1 科目を履修していること。
 ※「英語文化事情・上級」、「現代英語表現法」は、2010 年度以前生のみ履修可。
- iii) 「言語文化三科目^{注1}」、「言語文化三科目^{注2}」のうち必ず 1 科目を履修していること。(ただし、上記 i) で必要な 20 単位のうち 2 単位を上限として含めることができる。)
- iv) 本学入学以降に受験した試験で、以下のいずれかのスコアを得ていること。
 TOEFL iBT[®]テスト : 79 以上
 TOEFL ITP[®]テスト : 550 以上
 TOEIC[®] LISTENING AND READING テスト (TOEIC[®] LISTENING AND READING テスト (IP) も可) : 730 以上
 IELTS テスト : Overall band score 6.0 以上

(注記)

注 1 : 言語文化三科目とは、比較言語文化論、地域言語文化論、メタ言語文化論をさす。

別表

I. 英語関連科目

- A 群 英語文化事情 1、2 (各 1 単位) (2009 年度以前生)
 英語講読 1、2 (各 1 単位) (2009 年度以前生)
 コミュニカティブ・イングリッシュ 1、2 (各 1 単位) (2010 年度以降生)
 アナリティカル・リーディング 1、2 (各 1 単位) (2010 年度以降生)
 イングリッシュ・セミナー 1、2 (各 1 単位)
 イングリッシュ・セミナー 3 (2 単位)
 イングリッシュ・ワークショップ 1、2 (各 1 単位)
 イングリッシュ・ワークショップ 3 (2 単位)
 アカデミック・イングリッシュ A、B (各 2 単位)
 プロフェッショナル・イングリッシュ A、B (各 2 単位)
- B 群 プレ・イングリッシュ・プラクティクム (4 単位)
 イングリッシュ・プラクティクム 1 (4 単位)
 イングリッシュ・プラクティクム 2 (4 単位)
 英語文化事情・上級 (4 単位) (2010 年度以前生)
 現代英語表現法 (4 単位) (2010 年度以前生)
 サマープログラム・英語 1 (4 単位) (2008 年度以前生)
 サマープログラム・英語 2 (4 単位) (2007 年度以前生)
 サマープログラム・英語 A (4 単位) (2009 年度以降生)
 サマープログラム・英語 B (3 単位)
 サマープログラム・英語 C (2 単位)
 スプリングプログラム (英語 A : 4 単位、英語 B : 3 単位、英語 C : 2 単位、英語 D : 1 単位)
 Overseas English Language Program I、II (各 5 単位) (2007 年度以前生)
 セメスタープログラム・英語 I、II (各 4 単位)
 言語文化研究 1、2 (各 2 単位)
 現代地域事情・上級講読 (英語圏) 1、2 (各 2 単位)
 ジョイント・セミナー比較文化論 (2008 年度以前生は学際科目、4 単位)
 英語演習 (経済学部対象科目、2 単位)
 比較言語文化論 1、2 (各 2 単位)
 地域言語文化論 1、2 (各 2 単位)
 メタ言語文化論 1、2 (各 2 単位)

TOEIC 及び TOEFL、TOEFL iBT、TOEFL ITP はエデュケーション・テスト・サービス (ETS) の登録商標です。